

第 62 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬	(株)	ベシケア 他	中外製薬	(株)	ミルセラ
第一三共	(株)	ネキシウム	エーザイ	(株)	パリエット
興和創薬	(株)	グラナテック	大塚製薬	(株)	
大塚製薬工場	(株)	ビーフリード	田辺三菱製薬	(株)	タリオン
武田薬品工業	(株)		(株) ツムラ		ツムラ六君子湯

(ABC 順)

編集委員会

編集委員長：杉 山 篤

編集委員：石井良和 伊豫田 明 三上哲夫

島田英昭 周郷延雄 高橋 寛

津熊久幸 瓜田純久 (ABC 順)

編集後記

本号では、Toho Journal of Medicine として小児科（大森）から原著論文 1 編と、東邦医学会雑誌として消化器内科（大森）からの症例報告が掲載され、加えて本学会例会・総会の特別講演や教育講演の要旨で構成されている。本誌の主な役割は、学位論文を含めた原著論文や症例報告の公表と、本学内の学術的活動の報告であると考えられ、本号はまさにその責務を果たしているといえよう。

近年では、インパクトファクターを上げるために、医学雑誌は症例報告をリジェクトする傾向にあるのは周知のごとくである。自分が携わっている脳神経外科関連の英文雑誌においても、よほど秀逸な症例報告でない限り、アクセプトしないように指示されている。しかし、だからこそ、東邦大学の 3 病院や出張病院で経験した珍しい症例、診断に苦慮した症例、ちょっとした工夫で治療が奏功した症例など、本誌に投稿していただきたいと願う。症例報告の執筆は、若手の論文作成の登竜門であり、文章の書き方、図表の作製方法、投稿規定の重要性、査読者とのやり取り等を覚える格好の機会であろう。また、論文執筆は、外科系医師の手術を上達させるとの説もある。外科医が手術を修得する方法は、単に経験した手術件数の多寡ではない。1 症例ごとの術前検討は当然のこと、その後も何度も手術内容を反芻して頭に焼き付け、自身の手術の良い点と悪い点

を洗い出す作業が手術手技の向上につながるものと考えられる。その際に、手術で気付いたことや今後改善すべき点を盛り込んで症例報告を書き下ろせば、関連する複数の論文を読むことも加わり、さらに深い知識が蓄積されるに違いない。ぜひ、外科系を含む多くの若手医師からの症例報告の投稿に期待したい。

(周郷延雄)

東邦医学会雑誌 第 62 巻 第 2 号

平成 27 年 6 月 1 日発行

編集兼 杉 山 篤
発行人〒143-8540 東京都大田区大森西 5 丁目 21 番 16 号
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原 3-46-10

株式会社 杏林舎